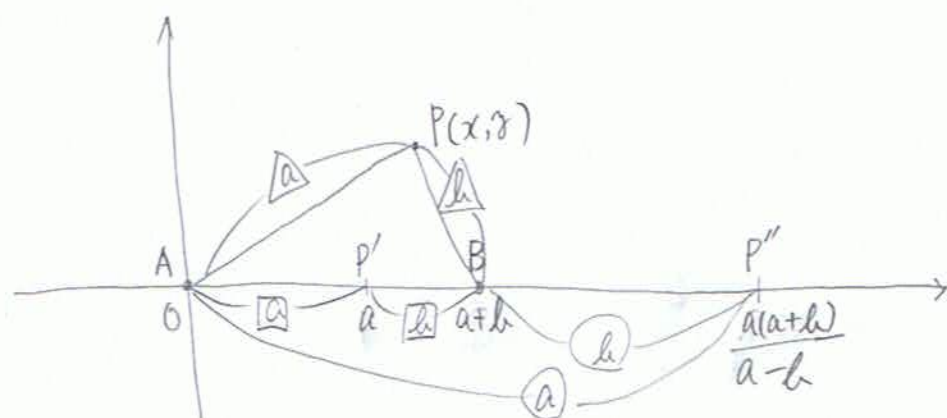
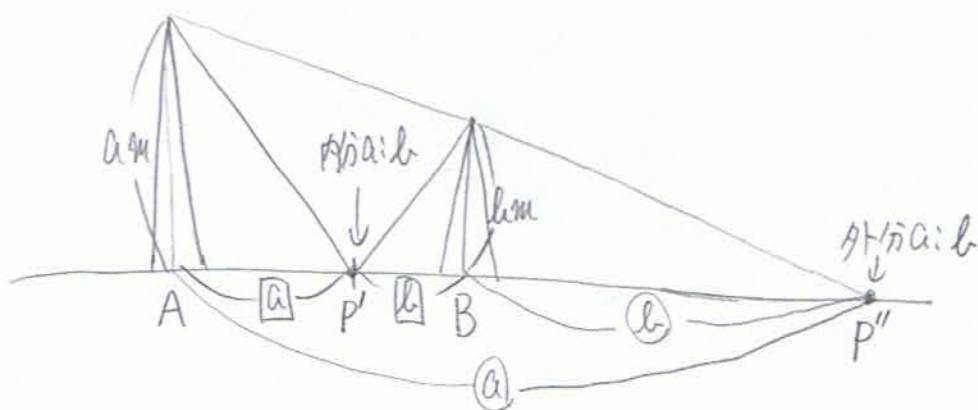


どんな高さでも成立する証明

タワーの高さが、 a と b (但し、 $a > b$ とする) の場合、

(自宅での「リール」の「乱筆失礼」)



$$PA:PB = a:b \quad (1)$$

$$b \cdot PA = a \cdot PB$$

$$b^2 \cdot PA^2 = a^2 \cdot PB^2 \quad \dots (3)$$

$A(0,0), B(a+b,0), P(x,y)$ とすると、

$$PA = \sqrt{(x-0)^2 + (y-0)^2} = \sqrt{x^2 + y^2} \quad \dots (1)$$

$$PB = \sqrt{\{x-(a+b)\}^2 + (y-0)^2} = \sqrt{\{x-(a+b)\}^2 + y^2} \quad \dots (2)$$

①, ② を ③ に代入

$$b^2(x^2 + y^2) = a^2\{\{x-(a+b)\}^2 + y^2\}$$

$$b^2x^2 + b^2y^2 = a^2\{x^2 - 2(a+b)x + (a+b)^2 + y^2\}$$

$$b^2x^2 + b^2y^2 = a^2x^2 - 2a^2(a+b)x + a^2(a+b)^2 + a^2y^2$$

$$0 = (a^2 - b^2)x^2 - 2a^2(a+b)x + a^2(a+b)^2 + (a^2 - b^2)y^2$$

$$0 = (a+b)(a-b)x^2 - 2a^2(a+b)x + a^2(a+b)^2 + (a+b)(a-b)y^2$$

$$0 = (a-b)x^2 - 2a^2x + a^2(a+b) + (a-b)y^2$$

$$0 = x^2 - 2\frac{a^2}{a-b}x + \frac{a^2(a+b)}{a-b} + y^2$$

$$0 = \left(x - \frac{a^2}{a-b}\right)^2 - \frac{a^4}{(a-b)^2} + \frac{a^2(a+b)}{a-b} + y^2$$

$$0 = \left(x - \frac{a^2}{a-b}\right)^2 + y^2 - \frac{a^4}{(a-b)^2} + \frac{a^2(a+b)(a-b)}{(a-b)^2}$$

$$0 = \left(x - \frac{a^2}{a-b}\right)^2 + y^2 - \frac{a^4}{(a-b)^2} + \frac{a^2(a^2-b^2)}{(a-b)^2}$$

$$0 = \left(x - \frac{a^2}{a-b}\right)^2 + y^2 + \frac{a^4 - a^2b^2 - a^4}{(a-b)^2}$$

$$\frac{a^2b^2}{(a-b)^2} = \left(x - \frac{a^2}{a-b}\right)^2 + y^2 \text{ となる。}$$

よって、 $\left(\frac{a^2}{a-b}, 0\right)$ が中心、半径 $\frac{ab}{a-b}$ の円となる。

分母 $a-b \neq 0$ である
 確かなら円になる。
 $a > b$ と宣言している
 ので $a-b > 0$
 なり問題ない。

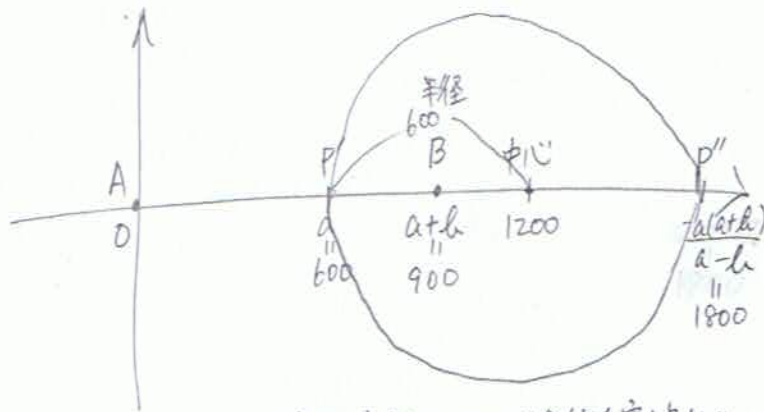
補足、 例えは、 $a=600\text{m}$, $b=300\text{m}$ ならば、

中心が、 $\left(\frac{a^2}{a-b}, 0\right) = \left(\frac{600^2}{600-300}, 0\right) = \left(\frac{1200}{300}, 0\right) = (1200, 0)$

半径が、 $\frac{ab}{a-b} = \frac{600 \times 300}{600-300} = \frac{600 \times 300}{300} = 600$ となり、

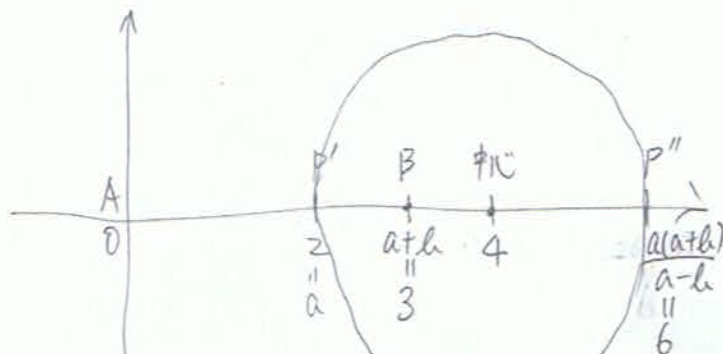
また、

内分点 P' の座標
 $= \text{中心} - \text{半径}$
 $= \frac{a^2}{a-b} - \frac{ab}{a-b}$
 $= \frac{a^2 - ab}{a-b}$
 $= \frac{a(a-b)}{a-b}$
 $= a$



比率に直すと、300で全体を割りれば、

外分点 P'' の座標
 $= \text{中心} + \text{半径}$
 $= \frac{a^2}{a-b} + \frac{ab}{a-b}$
 $= \frac{a^2 + ab}{a-b}$
 $= \frac{a(a+b)}{a-b}$



よって、高台からなら、 a と b に高台の高さを引いた値を
 代入すれば可能となる。

となり、本日のお題を
 証明した事になる。
 従って、 $a-b \neq 0$ なら、
 $a \neq b$ のとき、全てに
 おいて円となる。

となり、P' と P'' を内分、外分の座標
 と一致するので、P'P'' を直径と
 する円になる。

よって、高台からなら、 a と b に高台の高さを引いた値を
 代入すれば可能となる。